

議会だより



ほこね

平成30年8月
No.193



大平台集会所



箱根集会所

主な内容

- 6月定例会 審議結果等 P 2～3
- 一般質問 P 4～8
- 河釜湖町訪問 P 8
- 議会報告会 P 9
- 常任委員会報告 P 10
- 特別委員会報告 P 11
- 我が家の自慢 他 P 12



専決処分

○専決処分の承認を求めることについて … 承認

①(箱根町国民健康保険条例の一部を改正)

平成30年度から国民健康保険制度改革により広域化が開始し、神奈川県が財政運営の責任主体となったことに伴い、保険料の賦課額等の算定基準が改正され、条文が細分化されたとともに、病床転換支援金等の納付に要する費用を含めて、国民健康保険料課する特例措置の適用期限を6年延長されるものです。

②(平成29年度箱根町一般会計補正予算(専決第2号))

除雪及び道路凍結防止に伴う費用について、当初の見込みを上回ったため必要となりました。

補正額 994万円追加

⇒ 補正後の総額 97億4,044万5,000円(うち雪害対策費5,854万円)

条例改正

○箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について … 可決

地域の中小企業による設備投資の促進に向けて、生産性向上特別措置法の規定により、市町村が主体的に作成した計画に基づき行われた、中小企業の一定の設備投資に関する固定資産に係る固定資産税の課税標準の特例措置について、我が町特例の対象とされたこと、働き方の多様化を踏まえ、特定の働き方だけではなく、さまざまな形で働く人を応援し、働き方改革を後押しするため、個人住民税の非課税の範囲が見直されました。

○箱根町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について … 可決

放課後児童支援員の基礎資格として、学校の教諭となる資格を有する者としている中、教員免許の更新を受けていない場合の取り扱いについて明確化し、放課後児童支援員の基礎資格について資格要件の拡大を行うものです。

条例廃止

○箱根町子育て勤労者支援住宅条例を廃止する条例の制定について … 可決

老朽化した宮城野^{こひがし}小東子育て勤労者支援住宅について、全世帯が退去したことから、箱根町公共賃貸住宅ストック総合活用計画に基づき、その用途を廃止します。それにより、全ての子育て勤労者支援住宅の用途廃止が完了となりますので、当条例が廃止されます。

補正予算

平成30年度箱根町一般会計補正予算(第1号) 可決

補正額 1,666万3,000円追加 ⇒ 補正後の総額 110億9,666万3,000円

内 訳

- ・保健衛生費 … 386万1,000円
地域子ども子育て支援事業の充実のため、社会福祉士の雇用等に関して … 371万1,000円
- 地域医療体制推進事業で、町内医療機関から要望があり、医療機器導入補助として … 15万円
- ・公民館費 … 1,280万2,000円
社会教育センターの非常用自家発電装置と非常用照明蓄電池の改修費として

**6月
定例会**

会期

6月12日から
6月22日まで

**専決処分
2件**

**条例改正
2件**

**条例廃止
1件**

**補正予算
1件**

**工事請負契約
1件**

**物件供給契約
4件**

**報 告
2件**

工事請負契約の締結について

… 可決

- 中学校校舎等整備事業 箱根中学校校舎等長寿命化改良工事
箱根中学校の長寿命化を図るための工事を行います。

平成30年5月16日に入札を行い、勝俣組・上野工務店共同企業体が落札し、契約金額は16億2,000万円です。

ここに賛成!!

入札は意向確認型指名競争入札^{*1}で行い、町内経済の活性化等を考え、町内に本店があることを指名の一つの条件と設定したこと。また、施工にあたっては空き教室を活用し、教室を移動させながら行う「居ながら施工」となるため、生徒等の安全確保策等について確認し、賛成としました。

物件供給契約の締結について

… 可決

- ①消防ポンプ自動車（本署配備）購入について、長野ポンプ株式会社と4,266万円で契約を締結
- ②資機材搬送車（本署配備）購入について、株式会社赤尾と1,018万4,400円で契約を締結
- ③消防ポンプ自動車（第1分団第1・2部配備）購入について、ジーエムいちはら工業株式会社と1,998万円で契約を締結
- ④小型動力ポンプ付積載車（第7分団第2部配備）購入について、小川ポンプ工業株式会社と1,188万円で契約を締結

報告

- 平成29年度箱根町一般会計予算繰越明許費の繰越しについて
 - ・宮ノ下地区公共施設利活用事業 … 繰越額750万円
宮ノ下地区の複合施設について、基本設計を実施するための基本条件となる建設予定地の選定に関して調整がついていないため継続して調整が行われます。
 - ・斎場事務広域化推進事業 … 繰越額1,343万1,000円
各種法令手続などに時間がかかり、平成29年10月の長雨と台風21号等の影響から、新斎場本体の工事着工が先送りとなったため、29年度に予定していた部分が完成しなかったものです。
現在の進捗状況は、平成31年4月からの供用開始を予定していますが、工事の遅延により供用開始が遅れる可能性もあります。
- 公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団経営状況の報告について
財団の事業報告及び、29年度決算、30年度予算の報告を町側から受け、7月20日（金）に財団の方と意見交換会を実施しました。

議員別議案賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案番号	議案等件名	議決結果	山田和江	勝俣公好	勝俣泰彦	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	村野由紀子	川端祥介	山田成宣	稲葉親太郎	遠藤秀則	石川栄	折橋尚道	沖津弘幸
40	専決処分の承認を求めることについて (箱根町国民健康保険条例の一部改正について)	承認	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 -：議長は採決に参加しません

^{*1} 意向確認型指名入札とは、指名競争入札のうち、等級、地理的条件等の入札参加条件を提示し、入札に参加意向のある企業から参加の意思表示を求め、条件を満たす企業は、原則、すべて指名して競争させる方式です。

6月定例会では、町政全般へ8人の議員が11項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
石川 栄	・箱根町の財源不足に対する対策について	4
勝俣 公好	・仙石原交差点周辺まちづくり計画について ・南足柄市と箱根町を連絡する道路について	5
山田 和江	・箱根町の財政ひっ迫について ・民泊の規制と観光ユニバーサルデザインの推進について	
山田 成宣	・ごみ焼却施設の統合に関する町の考え方について ・「箱根八里」の日本遺産認定について	6
勝俣 泰彦	・住宅宿泊（民泊）事業について	
遠藤 秀則	・消防湯本分署建替工事について	7
村野由紀子	・福祉と交通の連携について	
川端 祥介	・箱根町の勤労者の確保と定住、労働条件充実等について、相談体制の推進について	8

※ **Q**は議員の質問、**A**は町側の回答です。



財源不足に対する対策について

町 — 町としては現行の超過課税継続を考えている

Q 都市計画税をはじめ、各税目についての検討結果について

A 昨年7月に大学教授を中心とした「行財政改革有識者会議」を発足し、課税可能対象の税目についての検討を依頼した。会議の報告では、法定税「都市計画税、入湯税」、法定外税「別荘税、宿泊税」等について、特徴や実施団体の状況、国・県にも問い合わせ、法律上の問題についても確認したが、現状では両者とも実施困難との回答である。

Q 財源確保に対する町の考えは

A 平成31年度以降5年間の財源不足は平均5億、単独税目案として実施中の固定資産超過課税が、多くの町民に対して比較的影響が小さいとの考えで、今後も継続が望ましい。平成36年度以降も年平均8億8千万財源不足の拡大が見込まれるので、超過

Q 課税の実施継続しかない。町の提案としては、平成31～35年度の5年間で、超過課税を継続し、平成36～40年度については、入湯税との関係もあるが、「宿泊税」導入をすべきとの意見もあり、慎重に検討したい。

Q 中長期財政見通しでは、税率を1.4%に戻すのは困難な状態である。そこで行財政改革アクションプランの着実な実行と早急に結果を出すことについて町長に伺う。

A 今後の財政状況を考えて、場合確実な実施をすると共に、進捗管理の実施と公表を通して町民の情報共有を図っていく。

Q 課税の実施継続しかない。町の提案としては、平成31～35年度の5年間で、超過課税を継続し、平成36～40年度については、入湯税との関係もあるが、「宿泊税」導入をすべきとの意見もあり、慎重に検討したい。



石川 栄 議員

仙石原交差点周辺まちづくり計画について

町 — 行政と民間が協議連携し計画事業を検討する



勝俣 公好 議員

Q 私は、兼ねてから南足柄市と箱根町を連絡する道路が開通するにあたって、仙石原交差点の渋滞が予測されるので、改良計画を進めてほしいと要望した。しかし、地権者と合意が得られず、進展しなかったことは承知している。

A そこに、小田急箱根ホールディングスから旧保育園跡地でのバスターミナル計画が提案され、仙石原地域総合整備協議会も地域活性化が図れるものとして賛同し、これを機に交差点改良工事も同時に進めてほしいと要望が出た。そこで、仙石原交差点周辺まちづくりについて伺う。推進方策はどのように行うのか。

A バスターミナル整備や交差点改良、まちづくりといったそれぞれの事業が相互に連携されることで、その効果が発揮されると考える。交差点改良は過去の経緯から、



バスターミナル計画が提案された旧保育園跡地

休止になっており、計画内容を再検討し、小田原土木センターへ要望していく。

Q まちづくりの方向性はどのようなものか。

A 従来型の行政主導によるまちづくりではなく、地域や各事業者などの民間が、ノウハウやアイデアを活用しながら、まちづくりを主導し、そこに行政が協力、連携することで地域の活性化につなげることを目標にしている。そこで、仙石原では行政と民間が協議連携する場として「プラットフォーム」を立ち上げ、まちづくり計画や事業を検討していく。

域外にお金が流出しないためにも自然再生エネルギーに取り組むべき

町 — 関心を持って積極的に取り組んでいきたい



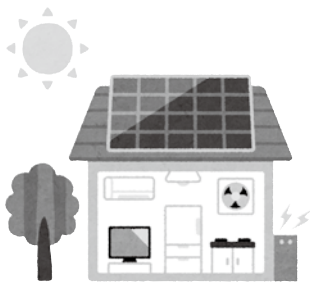
山田 和江 議員

Q 観光地箱根町の財政は他の自治体にはない特徴を持っている。これまでも有識者等の町財政に対する分析結果が示されているが、当局としてその分析結果をどのように受け止め解決しようとしているのか伺う。

A 本町の最大の特徴として支出の極端な流出入額があること。町外からの流入額が全国上位である一方、そのサービスを提供するため人や物を町外から調達していることから、町外への流出も全国上位となっており結局町にお金が留まらない構造となっている。この要因として、人口が減っていること。雇用者所得が町外に流出していること。支出の域外流出が多いことが指摘されている。町の受け止めとしては経済的果実が町税、その中でも町民税に直接つながりにくい構造であることを改めて確認できた。

Q 域外にお金が出て行ってしまいうもう一つの問題は化石燃料です。重油灯油そういうものが町外から買っている。計算すれば相当な金額が流出しているのではないかなるべく域外に出さないで自然再生エネルギーで町内に雇用と経済を回していく観点からも横浜国大と一緒に取り組んでいただきたい。

A 自然エネルギー、まさに日本の現状をエネルギー政策そのものだというふうに思う。自然エネルギーについても関心を持って大学との協定をいただいた中で積極的に取り組んでいきたい。



ごみ焼却施設の統合は？

町 — 平成35年度には統合をすすめる



山田 成宣 議員

Q 環境センターの周辺地域においては、依然として悪臭等にストレスを感じている住民も少なくない状況であることを、箱根町全体の意識として再認識していただきたい。そこで、ごみ処理施設の広域化に向けた作業の現状と、今後の課題について町長の所見を伺う。

処理施設整備に関する基礎資料を今年度予算で作成している。

A 平成35年度を目前に、湯河原町真鶴町衛生組合とのごみの共同処理の検討を進めている。それに伴い、現在の芦之湯にある環境センターをごみの中継施設に。また、ごみの湯河原町までの搬出方法、運搬ルート等、ごみ

ごみ焼却施設の共同処理が実施された環境センターは、現状のごみ焼却施設部分を改修することが考えられるので、引き続き芦之湯や畑宿の住民の方々のご理解を頂くことが大変重要な課題であると考えている。そのようなことをふまえ、芦之湯や畑宿の住民の方々とは広域化施設整備等基本調査において導かれる方向性等をもとに、ごみ焼却施設の統合について、しっかりと対応させていただきたいと考えている。



環境センター

住宅宿泊（民泊）事業について

町 — 違法民泊は許さないとの信念で、地域と調和した健全な民泊が適正に行われるよう取り組んでいく



勝俣 泰彦 議員

Q 当町における民泊のルールについて

者が対応する事になっている。対応が不適切な場合は監督機関である小田原保健福祉事務所から指導等の措置が講じられると明記されていることから、町としては苦情等に備えて住宅宿泊事業者との連絡体制を整備する必要があると考えている。

A 国・県の共通ルール他、箱根ならではの地域ルールをまとめた「民泊の手引」を作成した。民泊を始めようとする事業者にはこの手引きを配布し、地域ルールを理解して頂き、適正に民泊の運営をしていて頂きたい。

Q 管理者及び事業者の表示について

A 事業者である旨の表示は、「国土交通省令他で定める様式の標識を掲げなければならぬ」と規定されており、小田原保健福祉事務所において指導することになっている。町においても標識の掲示が無いようであれば、小田原保健福祉事務所へ是正指導を求めるなど標識掲示について徹底したい。

Q ゴミだし、騒音問題等の指導方法について

A ゴミだし、騒音問題が生じた場合は、宿泊事業

Q 通報のあった物件は神奈川県がHPで公表している。許可施設一覧により確認を行い詳細が把握できない場合は、町職員が現地調査等により物件の確定を行うよう努める。把握した状況等については小田原保健福祉事務所に情報提供を行い、調査指導につなげている。

Q 違法民泊の対策について

A 通報のあった物件は神奈川県がHPで公表している。許可施設一覧により確認を行い詳細が把握できない場合は、町職員が現地調査等により物件の確定を行うよう努める。把握した状況等については小田原保健福祉事務所に情報提供を行い、調査指導につなげている。



消防湯本分署建替計画について

町 — 長期間にわたり使用することを視野に強度を併せ持つ施設の計画を進める



遠藤 秀則 議員

- Q** 湯本分署について、老朽化と国道1号線の渋滞の慢性化等により、消防車や救急車の出勤に支障をきたす恐れがあるので、本庁舎下の町道沿いへの移転建替が決定されたが建物の規模等について伺う。
- A** 土地の測量結果を踏まえ、概ね3階建て程度とした。
- Q** 車両の台数と車庫としての余裕は。
- A** 1台を追加、4台を収容し、速やかに出勤できる間隔を確保する。
- Q** 分団との併用となるが、十分な余裕はあるのか。
- A** 団員一人当たり1.5mから1.5m程度を目安とし、詰所として必要面積を確保する。
- Q** 公共建物に無い非常設備等はあるのか。
- A** 温・湿度計、風向風速計、気象観測機器、消



湯本分署建設予定地

- Q** 防デジタル無線、アンテナ、ホース乾燥塔、発電設備など。男女共同参画が推進され、他の消防において女性が活躍されているが、分署建設において女性対応と完成までのスケジュールについて伺う。
- A** 近い将来を見据え、女性用施設の設置は必要で計画をしている。平成31年度着手、平成32年度には運用の開始を考えている。

高齢者の移動手段の確保を！

町 — 協議会で検討しながら進める



村野 由紀子 議員

- Q** 今後は運転できる方も将来的には、免許返納をしていくこととなり、運転免許を持つていない方と同じように地域の移動サービスの利用者になる。今から仕組みを作ることが大切。私が参加した「高齢者・障がい者の移動手段の確保を考えるセミナー」では、NPO・ボランティア・有償運送等、各地域の移動支援が紹介され取組が始まっている。国土交通省では、高齢者の移動手段の確保に関する検討会で住民主体の移動や外出支援の必要性を明記し、市町村運営有償運送の見直し、許可や登録を必要としない輸送が明示された。それらも考慮し、福祉と交通の連携や促進について伺う。

- A** 現在、移動手段の確保等を目的とするような協議会等はない。箱根町生活支援・介護予防体制整備推進協議会において地域の助け合いによる方法や福祉有償運送の活用を含め検討している。国や県、近隣市町村の動向を注視しながら、高齢者にとって生活しやすい環境等、生活支援・介護予防体制整備推進協議会において関係機関を交えて検討しながら他部署とも連携し進めていく。



労働者の確保・定住の推進・各種労働相談業務をいかに行うのか

町 — 労働者の確保、定住を図り、労働相談業務について今後も充実していく



川端 祥介 議員

Q 労働者の確保を図るため、定住・定着を推進して更なる労働条件を充実させ、生活力を向上させる必要がある。

昨今の人手不足に関して、労働力の確保対策について伺う。

A 労働力を確保したい企業側と、就職を希望する方、それぞれにとって有益な情報提供のあり方について検討していく。

Q 勤労者の定住・定着について伺う。

A 町内の勤務者のうち、町外から勤務する方は56%、この10年で7ポイント増加している。箱根に住み働く「職住近接」は、ゆとりのある生活につながり、経済環境や、コミュニティの活性化など企業側も、多方面でプラスになる。

若い世代には、昨年度から「住宅取得補助」や、「家賃補助制度」の創設などの住ま

いに関する施策を実施。また、宮城野保育園の建て替えや、放課後児童クラブの受け入れ環境を整え安心して働けるよう環境整備を進めている。

Q 勤労者・事業者からの相談業務の充実について伺う。

A 適正な労働条件が確保され、相談者に対してより適切な対応が出来るよう、関係機関との情報共有・連携のあり方について研究していく。



洞爺湖町親善訪問

両町議会は姉妹都市としての友好の絆を深め、資質向上を目指して、相互交流を続けています。

6月24日から3日間、洞爺産業まつりやジオサイトの視察も兼ねて訪問しました。今回は、平成27年の大涌谷周辺での火山活動が活発化した際に、箱根町を元気づけるためにツアーを組み来町して下さった洞爺湖町の皆さんに感謝の気持ちを伝えることも目的の一つでした。

滞在中は、洞爺湖町で開催されていた、2日間で約7万人の集客があるマンガアニメフェスタに参加し、箱根の観光パンフレットを配布する等、箱根をPRしてきました。



箱根をPR



ジオサイトの有珠善光寺を視察



箱根牧場の勝保克廣社長と



洞爺湖町役場を表敬訪問

また、毎年、箱根町の小中学校等に対し、ジャガイモ等を寄付していただいている、千歳市にある北海道箱根牧場を訪問し、勝保社長さんに感謝の気持ちを伝えてきました。

皆さんも、北海道に行く機会があれば、洞爺湖町や箱根牧場を訪ねてみてください。

盛況!! 議会報告会



報告会の当日の状況

出席人数：大平台集会所 25名、箱根集会所 52名

テーマ

平成30年度予算審議について・行財政改革について



会場での主な意見

今回の議会報告会で出された主な意見は次のとおりです。

- ・日本遺産に選定された旧東海道石畳、箱根八里に係る箱根町の今後の動向について
- ・町指定避難所が土砂災害警戒区域内にあるので、考え直した方が良いのではこの2件については今後、所管の常任委員会において調査・研究を進めていく予定です。

アンケート自由記入欄の意見

- ・これからもこのような集会を開いてください。
- ・5地区で実施する方向で検討願います。
- ・パワーポイントの資料も欲しい。
- ・財政状況が厳しい中、どうするのか。
- ・この会に参加して、予算等について説明を聞き、町の危機感を実感しました。
- ・各議員から予算審議の報告があったが、議会だよりそのまま読めば分かります。
- ・町民の声、要望など生の意見を聞く会を設けた方が良いのではないかと思います。また、町民が気軽に意見を言える雰囲気を作ることが必要だと思いました。
- ・収入が見込まれなければ、支出を減らす努力をもっとやるべき！期待しています。
- ・箱根地区に住んでいますが、高齢者が多く、車がないと買い物も病院にも行けません。お店、セブン、ローソン等買い物できる場所を作っていただきたいと思います。

※その他にも様々なご意見等を頂いていますが、紙面の都合により割愛させていただきます。ご了承ください。

参加いただいた皆さまから、アンケート以外にも意見並びに提案を頂き、これからの議会活動の参考とします。

また、町民に開かれた議会を目指してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

委員長 稲葉 親太郎

総務企画観光常任委員会 報告

5月25日に、総務防災課長・防災対策室長・今年度より就任した危機管理官の出席のもと、①箱根町地域防災計画の修正 ②大涌谷の火山対策について ③町の災害対応について会議を開きました。

今年の2月に修正した、箱根町地域防災計画について改めて説明がありました。町内各地域に点在している各種の自主防災の大切さを改めて実感させられ、委員からは地域住民との調整、また、各種団体等との連絡をさらに密にさせていただきたいとの意見がありました。

大涌谷の火山対策については、特に、3点にわたる平成30年度の取り組み、①火山ガスの対策強化 ②避難対策の強化 ③安全な全面再開に向けた取り組みの推進について説明がなされました。

町の災害対応については特に危機管理官より詳細にわたり現状の報告があり、併せて、今後の進め方について説明がなされました。自衛隊の経験については特にたのもしく感じました。

自衛隊との連携強化を含む、大規模災害時の対応については、危機管理官の経験と人脈を存分に活用していただき、今以上に防災対応を充実してもらいたいと思います。

今後についても自主防災等、委員会として注視し、更に防災の充実を図るため調査研究を進めていきたいと考えています。

委員長 山田 成宣



総務企画観光常任委員会の様子

教育福祉環境常任委員会 報告



教育福祉環境常任委員会の様子

6月15日に会議を開き、教育長・教育委員会担当職員の出席のもと、施工業者も決まった箱根中学校校舎等長寿命化改良工事についての詳細な説明を受けました。

施工については仮設校舎を設置する必要がなく、費用を低く抑えられる「居ながら施工」で行うこと、外観イメージ等について全校投票により決定したこと等について説明を受けました。

「居ながら施工」という県内においても稀な手法で、工事も短期間であることから、着実な施工と、安心・安全な工事をお願いした説明があり、工事を進めるにあたり、生徒の通学路、就学中である工事車両の進入の時間帯、学校行事、予定通り期日までにできるのか等について、各委員から関連する質疑が多くされました。

今後委員会としても、授業等支障のないよう、事業の進捗状況を注視していくこととしました。

委員長 遠藤 秀則



長寿命化改良工事は着実に進んでいる

行財政改革調査特別委員会 報告

行財政改革調査特別委員会は、新年度に入り4月25日に第7回目の開催を皮切りに、6月末までに4回の特別委員会を開催し、通算10回の会議を開催しました。7回目は、今後起こる財源不足額の要因について協議し、公共施設再編計画などの投資的経費に対する算定が人口減少の現実に即しているのか、職員数確保の必要性の根拠と住民サービスへの影響についてなど調査研究を行いました。



行財政改革調査特別委員会の様子

8・9回目の特別委員会では、基金残高の適正検証とふるさと納税に対する考え方、住民サービスのコストについて、町業務量と職員数の関係についてのほか、町が現在採用している部長制度の在り方についても議論となりました。

特別委員会で議論されている内容について、議会からの町民に向けての説明の機会としては、議会だよりの活用、議会報告会・意見交換会などの実施を通じ発信していくことが提案されています。

特別委員会内での新たな動きとして、10回目の会議では、行財政に関する今後の活動として、少人数のグループ分けをして、より深く調査研究をすることの有効性が提案されました。そこで、直ちに分科会方式による研究組織を形成し、また全体を取りまとめる幹事会の組織編成が承認され、分科会・幹事会共に6月議会終了後直ちに活動を開始いたしました。

分科会は3分科会を組織し、調査研究項目と人選は別表のとおりです。分科会の研究のとりまとめは、8月中を第1段階の目途として、調査研究報告をすることとなっています。

委員長 折橋 尚道

分科会の検討項目とメンバー

検討項目		①町税等の検討 ②使用料等の値上げ検討 ③町有財産の有効活用 ④定住化対策 ⑤その他	①人件費の削減 ②行政業務量の削減 ③その他	①公共施設の効率化・修繕 ②住民サービスのあり方 ③その他
構 成 員 ◎会長 ○副会長	幹事会	◎折橋尚道委員 沖津弘幸委員	◎川端祥介委員 山田成宣委員 ○石川栄委員	◎勝俣剛一委員 遠藤秀則委員
	幹事会以外	○山田和江委員 勝俣公好委員 稲葉親太郎委員	小川鶴雄委員	○勝俣泰彦委員 川口延明委員 村野由紀子委員

議会改革等推進特別委員会 報告

本特別委員会では、協議を重ねて参りました請願^{※2}と陳情の取扱いについて、請願及び陳情取扱要綱を一部改正することとしました。正副議長等が紹介議員となることの制限をなくす等、町民の方にとって、より請願が提出しやすくなるように改正を行いました。

また、「平成30年度箱根町議会の活性化に向けた理念と方針」を新たに作成いたしました。前任期における議会の意思を引き継ぎ、町民の代表としてその負託に応えるため、「町民から最も頼りにされる議会」を基本理念に据え、議員一丸となって、自らの創意工夫と町民との協働のもと、町民に開かれた参加しやすい議会の実現や公正で透明性の高い議会運営の推進を図るとともに、議員の資質向上や町民の視点に立った政策立案、提言が行えるよう、議会機能の強化に努めて参ります。



議会改革等推進特別委員会の様子

委員長 村野由紀子

※2 請願・陳情は、町政などについて、議会に直接要望できる制度です。審議後、採択された請願及び陳情は、その実現がされるよう、議会として、関係機関等に意見書を提出します。

取材

サッカー教室

箱根中学校サッカー部の生徒が元日本代表岩本輝雄さんの指導を受けました。



参加者には小学生の姿もありました

消防操法査閲・壮行会

7月25日開催の神奈川県消防操法大会に係る査閲及び壮行会に正副議長等が出席し、激励してきました。



7月3日 壮行会を実施

我が家の自慢



柴犬の
虎鉄くん

仙石原地域 大屋さん

愛犬の虎鉄に癒される毎日...
大事な家族の一員です。
こてっちゃん、これからもよろしくね!

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送または下記にEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載) web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

議員と
意見交換
しませんか?

町民の皆さんとの意見交換会 希望する団体等を募集中!!

【対象】 町内で活動する、おおむね10人以上のグループ・団体
詳しくは、議会事務局までご連絡ください。(☎85-9570)

9月定例会の日程(予定)

本会議 **8月28日(火)、31日(金)、
9月5日(水)、11日(火)、26日(水)**

決算審議 **9月14日(金)、18日(火)、21日(金)**

※8月21日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

～ 皆さまのお越しをお待ちしています ～

広報広聴委員会

委員	副委員長	委員長			
折橋 尚道	村野 由紀子	勝 剛	勝 公好	川口 延明	稲葉 親太郎